時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し

一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓○月曜休刊

○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填寡するより各社同一の記事を掲ぐるもの尠からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も尠からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

民黨の過激は掛念するに足らず

官民の軋轢は我國年來の宿弊にして殊に近頃は一層その熱度を高め是れが爲め屢ば議會と政府との衝突を惹起し行政の區域は次第に狹められて今日の所、政府は殆んど何等の政策をも實行する能はざるの有樣なるは國家の爲めに取りて不幸の至なれば當局者は一日も早く此紛紜を一掃して調和の工風なかる可らずとは我輩の兼て主張する所にして即ち其一手段には或は政府が大に人物登用の門戸を開て他の功名心を滿足せしむるの策を取り時宜に由りては反對の政黨中にて錚々の聞ある人々をば樞要の地位に容れて所謂聯立内閣を組織するも調和の道なる可しとの次第を述べたることありしかども政府の執る所は中々固くして容易に動く可きに非ず蓋し當局の身と爲りて考れば今日の民黨と稱する政客は其言論擧動如何にも過激粗暴にして殆んど破壞黨に類する者共なれば此輩をして直接に政治に與らしめんには夫れこそ如何なる亂暴無法を働くや知る可らず誠に危險の至なりとて唯一筋に其急激主義に恐を抱き成る丈け之を近づけざるの策を講ずるものにてもあらんか若しも然らんには聊か鑑定違の意味なきにあらず今の在野の政客は其言行常に謹愼ならず着實老成の一點に於て政府の當路者に比して遙に及ばざる所あるは事實に爭ふ可らずと雖も本來政府と民黨との間に斯の如く温和急激の相違ある所以のものは畢竟するに官民の人物に等差あるが爲めに非ずして寧ろ其地位境遇の異なるが故なりと認めざるを得ず即ち官途に在るの人は既に其目的とする所の權力榮譽を得て之に滿足する者なれば此上は唯何時までも永く其地位を維持して名利を全ふせんと欲するの外に餘念なく隨て其氣風感情も自から退守に傾き都て事を行ふに着實を主とするの心も生ずる其反對に民黨の政客には地位もなく權力もなく榮譽もなく身邊無一物にして唯胸中に青雲の志あるのみ其目的とする所は政府を倒して之に附着する權勢名利を乘取るに在り首尾よく乘取りたる上にて始めて漸く國家經綸の大策を施すの運にも至る可きなれども差向きの所にては只當路者を苦しめて現在の地位より追落さんとするの一念のみなれば其議論の無責任にして擧動の亂暴なるは固より怪むに足らず此風の事例は立憲國の常態にして歐米何れの國に於ても然らざるはなし政府は着實主義を取り反對黨は急激主義を取ること一般の例なるが如し西洋諸國にては政黨の流行盛にして苟も政治に喙を容るゝ者は大概皆何黨かに屬するの常なれども近來は其政黨の性質次第に曖昧のものと爲り同一の政黨に加名する人なりとて悉皆同一の意見を持するに非ず又常に相敵視して水火も啻ならざる正反對の政黨に屬する二人の政治家にして其主張する所の議論は却て甚だ相似たるの例も少なしとせず左れば保守黨と稱するもの必ずしも保守主義を奉ぜず進取黨又必ずしも進取ならず同一の政黨にして時と場合とに由り或は保守となり或は急進となることさへあるが故に唯政黨の名のみを聞て是れは如何なる性質の黨派ならん歟と其斷定を下すは甚だ困難なれども獨り判然爭ふ可らざるは在朝黨と在野黨の區別にして如何なる急進過激の政黨も一度び政權を掌握すれば則ち其日より俄に老成着實の風を帶びて復た昨日の暴論を口にせざる其代に今まで政府に在て温和説を主張したる者の一派は政權を失ふと共に豹變して劇烈の論客となり專ら政府の攻擊に從事するは世界中何れの國に於ても免かる可らざる政治上の順序なりと知る可し西洋の學者の説に今日世界各國に行はるゝ政黨の名稱は都て之を廢して其代に在朝黨と在野黨との二名稱を用ひたらんには各政黨の性質を知るに就て大に便利ならんと云ひしも即ち右の事實を示したるものにして甚だ味ある言なり左れば今日民黨の政客が政府に反對して粗暴無責任の言行を恣にするは唯在野黨なるが爲めにして若しも明日にも之に政權を授けて在朝黨となすときは必ず其調子を改めて温和着實の方向に傾くは疑ふ可らず現に今の政府に居て專ら治安を重んずる人々と雖も幕府の末年には最も劇烈なる議論を唱へ時の政府を攻擊したる壯士の連中にして亂暴狼藉至らざるなく當時の社會に持て餘されたる人物に非ずや當路者にして若しも自から自身の經歷を顧みて三十年前の昔を追想したらば或は思半に過るものあらん今の民黨を目するに破壞黨の名を以てして之を近つけざるは既往に於ける自家の境遇を忘却したる者と云ふ可し

官報

○勅令

朕陸軍定員令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十六年二月八日

陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第四號

陸軍定員令中左ノ通改正ス

一　附表第十號甲參謀本部定員表備考ニ左ノ一項ヲ加フ

第一局及第二局局員缺員アル二際シテハ其代員ハ暫ク之ヲ出仕將校ニ補員スルコトヲ得

一　附表第十二號己陸軍將校生徒試驗委員定員表ヲ左ノ如ク改ム

陸軍將校生徒試驗委員定員表

區分＼階級	大佐	中少佐	大尉
常置委員長	一		
常置委員			二五
臨時委員			

備考　臨時委員ハ各師團長志願者ノ多少ニ應シ其人員ヲ定ム　委員長以下總テ他ニ本職アル者之ヲ兼ヌ

一　附表第十四號丁陸軍幼年學校定員表中生徒ノ數「二二五」ヲ「三〇〇」ニ改ム

雜報

○佛蘭西の新年　と題して或る米國雜誌は論じて云く文明國は何れも皆、難局を免れずして目出度からぬ新年を迎へたる中に佛蘭西國は恐らくは最も慘然たる悲境に陷りしものなる可し巴奈馬運河疑獄事件は同國政府の構造に就き幾多の弱點を世上に暴露したることなるが殊に甚しきは下院か上院及び大統領の上に振ひたる權威なり一旦、共和政體の上に非常の壓力を來せしや否や大統領も上院も敵ふるに足らず主權の居處は下院なりとの次第の明になりたるのみならず尙は之よりも憂ふ可きは下院議院が自ら斯る事の次第を知り國家危急の時に自ら任じて國安維持の委員と心得、憲法を度外視する勢を示せしこと是なり下院を除て其他の政府の部門は公共の心操至て少く民心激昂の時抔には已れの地位を守るに忙しきのみにして曾て之を制御するは愚か和げんともせず唯自ら潔くして他の嫌疑を受けざるか但しは之が注意を免るれば則ち足れりとし居れり往年大統領グレヴヰー氏が單に國會の氏の爲めに内閣を組織するとを拒絶したる故を以て止むを得ず辭職せし時に下院の唯我獨尊は漸く其徴を示したりこは國會の大統領を撰ぶ制度には殆ど避く可らざる結果と云ふ可し蓋し之を立つる者は之を倒し得可ければなり之に反して亞米利加の大統領は人民の投票に由て撰ばるゝを以て上院又は下院よりも民心に深き根據を保ち假令ひ若しも佛蘭西の大統領の如く國會議員の中より己れの内閣を組織せざる可らずとするも多分、國會の命令を奉ずるに及ばざる可し然れども此行政部を隨意に取除き得可きを以て之をして安きに居らしめざる規則は近頃の佛蘭西の經驗に於て充分に之を明にしたり必竟彼の大統領グレヴヰーの爲めに内閣組織を拒絶し之をして辭職せしめたる先例は今日の事件に於て少しも忘却せられざるなり此先例は下院をして其力至大なることを知らしめ思ふに大統領と上院とを併せて拂除けたる所の彼の巴奈馬秘密摘發の計策を企てしめたるものもこれある可し否是れのみならず刑事裁判も尋常の法廷より捻取られて怒氣憤々たる國會の委員が手に渡さるゝに至れり斯る事の進行く間に上院は居竦りて戰慄するのみ若しも大統領カルノーこそは此度の罪人の巨魁なれば彼れも亦去る可しとの表立たる公言なくして事の落着することもあらんにはカルノー氏の感謝は一方ならざる可し　（以下嗣出）

○大坂府會議員半數改撰　同府會議員半數の改撰に就ては既に市郡の有志家は奔走に餘念なく寄り〳〵候補者を定め豫撰會を開きて已に候補者を發表せし處もあれば未だ秘して發表せざるもあれど今度の撰擧は所謂硬軟二派勝敗の岐るゝ處なれば互に秘計を盡して競爭中なり若し愈々硬派にして多數を占めんか再び大坂府會に知事警部長信任問題の出るは勿論大に軟派議員の面目を失ふ次第なれば愈々撰擧の間際に至れば今一層激烈の競爭を見るならん併し市郡共に純粹の政黨員は少なく假令ひ硬派と云ふものも獨立主義の人多し目下の形勢に依れば三十六名改撰の中、七八名乃至十名を除き其他は皆再撰の模樣にて此再撰中より硬軟二派を區別すれば硬派は十名に過ぎず隨て新撰者の種類に依りて大坂府會の大勢定まるものなりと

○發行停止　……に妨害ありとて……

○地方……

○札幌郡白石村……積百六十萬坪の……百圓餘を集めて……ざるを以て株主……分説と變換説と……ぶる議論あるべ……

○秋田縣下……乎たるは世人の……

……倶樂部、院外の……狀を贈りたるよ……

○靜岡市　に貯……の多く日々入九……

○參州豐橋　の……百餘名にて常設……

○若州地方　に……に多く且各府縣……賣行宜しきため……

○越前地方　に……

○江州長濱地方……り込みて買入に從……に依りて頗る好……

○京都市　の明治……事務掛會議にて……圖擴張費との二……一二件あるのみ……以上なりと

○神戸港　の金融……月に近づくに從……有樣を呈し銀行……二錢より二錢五厘……は二錢より二錢……

○神戸市　の小野……六號水雷艇は佛……るが去る三日小野……轉を爲し更に翌日……

○讃州高松　の……納を設けて販路の……徒百七十餘名を……賣出すより民間の……るゝため同業者……しが高松市長の仲……悉皆市内の同業者……を約し官民の折合……

○長崎市　の俳人……り四月二十三日同……を施行するよし

○長崎縣廳　にて……したるもの〻目的……左の如し

學術		
朝鮮	女 男	〇三　一五……
清國	女 男	二七　八……
東洋 各港	女 男	〇〇　……
露領	女 男	〇〇　七……

○山ノ手線發車時刻（品川赤羽間）　品川發（赤羽行）午前八時十分、十一時五十五分、午後一時五十分、五時●赤羽發（品川行）午前九時、二十五分、午後零時二十分、三時十五分、七時十三分

○甲武鐵道發車時刻（新宿八王子間）　内藤新宿發　午前六時五十五分、九時五十五分、午後零時五十二分、四時、七時●八王子發　午前五時二十四分、八時二十四分、十一時二十四分、午後二時十九分、五時二十九分

……五分、午後二時五分、五時三十……後零時十七分、三時三十七分、……時四十一分、午後三時一分、……時二十七分、午後一時四十五分、……十分、午後一時五十分、五時……午後一時七分、四時三十二分……